

これより先は

森林計画区ごとの概要となりますが

地域管理経営計画(案)

及び

国有林野施業実施計画(案)

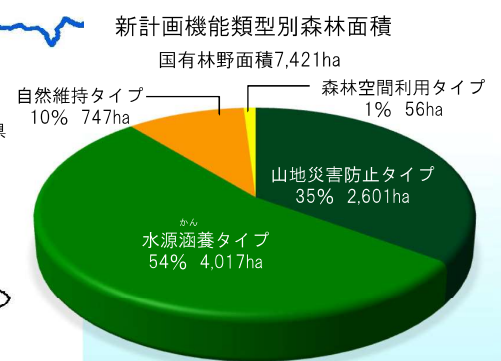
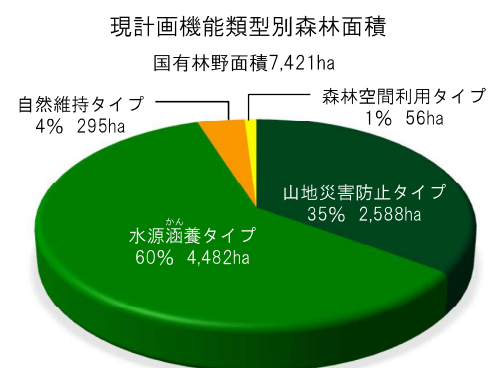
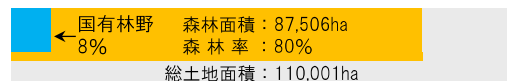
を併せて御説明します

①若狭森林計画区の地域管理経営計画等について（福井森林管理署）

国有林野の基本データ

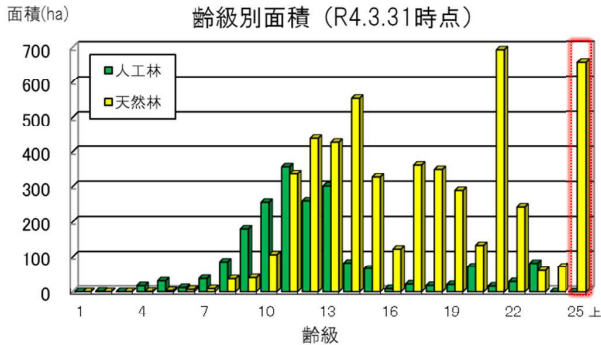
- 森林計画区の区域は福井県南西部の2市4町となっています。
- 国有林野面積は7,421haであり、森林計画区内の総土地面積に占める国有林野の面積割合は7%、森林面積に占める割合は8%となっています。
- 大部分が滋賀県及び京都府との境に分散しているほか、若狭湾沿岸部にも小規模な団地が点在しています。

森林計画区内における森林面積の割合



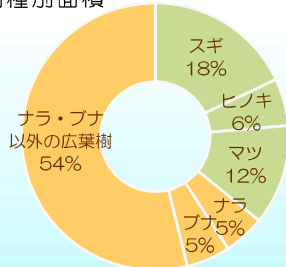
国有林野の特徴

- 国有林野の73%を天然林が占めており、特に野坂山地の稜線一帯は植生自然度が高い森林が残されており、該当する国有林の一部には保護林を設定し、貴重な森林の保護・保全を図っています。
- 若狭湾沿岸部の国有林野は、日本三大松原の一つ「気比の松原」など、本計画区を代表する景勝地やその周辺に位置しており、「若狭湾国定公園」等の自然公園に指定されているものもあり、保健休養の場として広く利用されています。



年齢とは、5年をひとくりにし、林齢1～5年生を1年齢、6～10年生を2年齢、以降、3、4年齢と続きます。

樹種別面積



25年齢以上の国有林分布

国有林名	山地	面積 (ha)
岩竜	野坂	4
黒河山	野坂	584
松原		28
池ノ谷		1
野鹿谷	若丹	40

クロマツとアカマツのおりなす白砂青松の松原



松原国有林 (敦賀市)

「レクリエーションの森」である松原風景林(気比の松原)は、特に景観等が優れており、「日本美しい森お薦め国有林」に選定されています。

気比の松原は、虹の松原(佐賀県)、三保の松原(静岡県)と並び、日本三大松原の一つで、「日本の白砂青松100選」や「日本の名松100選」に選ばれているだけでなく、名勝や、若狭湾国定公園にも指定されています。

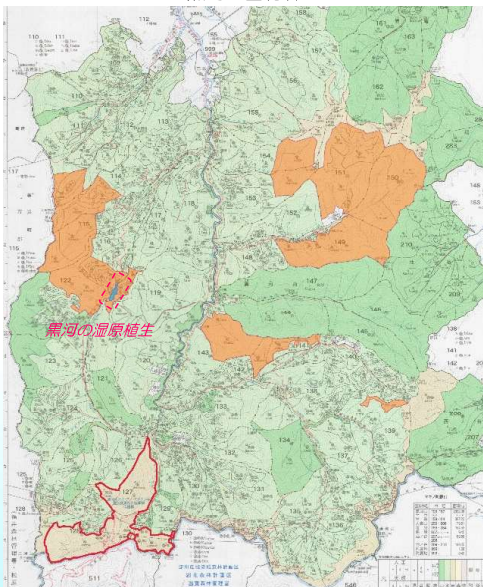
種類	名称	国有林名(市町村)	面積 (ha)
風景林	松原風景林	松原(敦賀市)	32.45
風景林	天筒山風景林	天筒山(敦賀市)	23.11

計画のポイント①「特に保護を図るべき森林」

- 若丹山地及び野坂山地の尾根から中腹に位置する、自然度の高い植生を有する国有林及び黒河の湿原植生周辺について、機能類型を「水源涵養タイプ」から「自然維持タイプ」に変更し、保護林や周辺の自然維持タイプの国有林と一体的に保全・管理します。

保護林名称	保護林面積	特徴	国有林名(市町村)
黒河山スギ・ブナ・ミズナラ等遺伝資源希少個体群保護林	93.05ha	スギ、ブナ、ミズナラ等の林木遺伝資源の保存	黒河山(敦賀市)
野鹿谷シャクナゲ希少個体群保護林	4.00ha	自生するシャクナゲ(天然記念物)の保護	野鹿谷(おおい町)

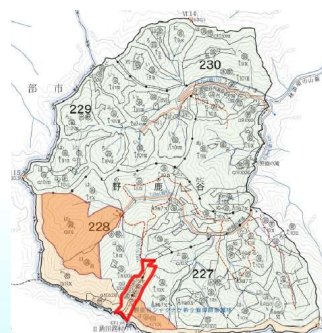
黒河山国有林



若狭森林計画区の自然維持タイプ面積

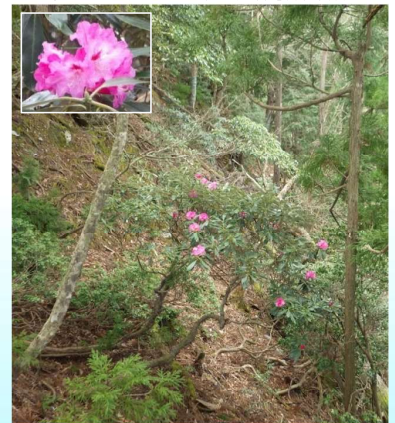
機能類型	現計画(ha)	新計画(ha)	現計画比(ha)
自然維持タイプ若狭計	295.36	747.37	+452.01
内訳(黒河山)	217.96	647.06	+429.10
内訳(野鹿谷)	21.68	44.59	+ 22.91

野鹿谷国有林



自然維持タイプに変更した箇所	○
保護林	○

野鹿谷シャクナゲ希少個体群保護林



計画のポイント②「森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止」

○ 若狭湾沿岸部に所在する国有林野を中心に松くい虫による被害がみられます。防除の効果もあり減少傾向にありますが、まん延防止の観点から引き続き対策が必要です。防除の実施に当たっては自然環境の保全に十分留意するとともに、地元自治体等の関係者との連携により、被害対策の実施に努めます。

病虫害の駆除薬剤の散布



松原国有林（敦賀市）

病虫害の防除薬剤を樹幹注入



（同左）

林内



（同左）

	敦賀市
R1年度被害面積	0.41ha
R2年度被害面積	0.34ha
R3年度被害面積	0.20ha

※国有林野の所在市町村別の松くい虫被害の推移

計画のポイント③「ツキノワグマ等の被害対策」

○ ツキノワグマの生息密度が高くなり、植栽木の剥皮被害が発生していることから、単木保護テープの設置等を行い、自治体等の関係者と連携して、被害対策に取り組みます。

ツキノワグマによる剥皮被害



永谷国有林（おおい町）

ツキノワグマの歯痕



門歯の跡が垂直方向に幾筋も残るのが特徴です

単木保護テープによる保護の状況



黒河山国有林（敦賀市）

新計画における主要事業量

区分	新計画	現計画	増減事由	
伐採総量	主伐 (20ha) 7,941m³	(7ha) 2,169m ³	主伐を行う分収林の増加に伴い、計画量が増加しています。	
	間伐 (418ha) 41,446m³	(358ha) 35,009m ³	間伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加しています。	
更新総量	人工造林 20.17ha	5.86ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加しています。	
	天然更新	—	—	
保育総量	下刈 64.79ha	17.58ha	人工造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。	
	除伐 1.29ha	9.63ha	除伐対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。	
林道事業	開設	—	1,500m	既存路線を使用して森林整備を行うため、計画量がありません。
	改良 70m	—	—	豪雨等の被害があった修繕箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
治山事業	保全施設 10箇所	—	4箇所	荒廃地復旧箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
	保安林の整備 214.29ha	—	48.69ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

（注）赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少

間伐予定地



野鹿谷国有林（おおい町）

間伐材を利用した丸太筋工



永谷国有林（おおい町）

②斐伊川森林計画区の地域管理経営計画等について（島根森林管理署）

国有林野の基本データ

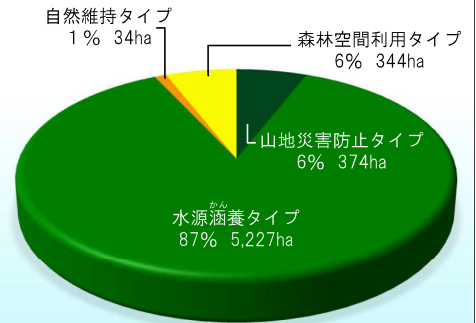
- 森林計画区の区域は、島根県東部の4市2町となっています。
- 国有林野は5,979haであり、森林計画区内の総土地面積に占める国有林野の面積割合は2%、森林面積に占める割合は3%となっています。
- 昭和30年以降の買入れによる国有林が大部分を占め、計画区域内に広範囲に点在しています。



森林計画区内における森林面積の割合



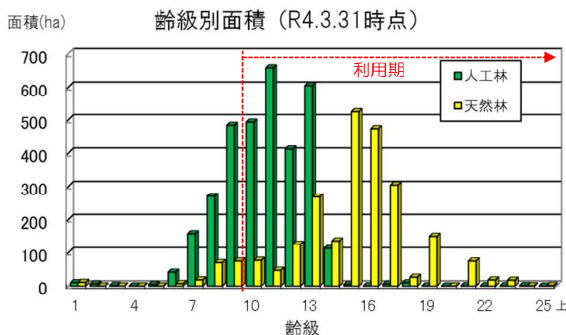
機能類型別森林面積
国有林野面積 5,979ha



斐伊川森林計画区

国有林野の特徴

- 国有林野の人工林率は57%を占め、この森林蓄積の約7割が10齢級以上となっており、利用期を迎えた恵まれた人工林資源を有しています。
- 一方で一部の国有林野は、ヤマタノオロチ退治の舞台地として知られている船通山、「出雲国風土記」の国引き神話にも登場する三瓶山など、本計画区を代表する観光地やその周辺に位置し、登山や保健休養等の場として広く利用されています。

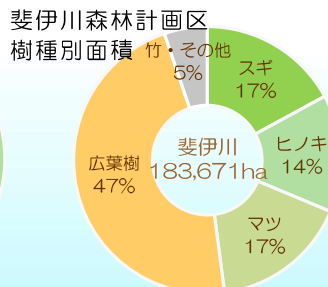
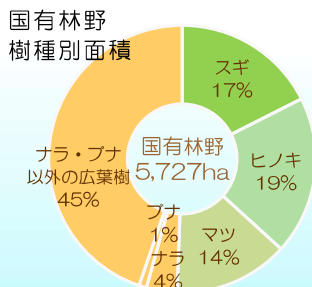


齢級とは、5年をひとくりにし、林齢1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、以降、3、4齢級と続きます。

三瓶山・東の原



三瓶山国有林 (飯南町)



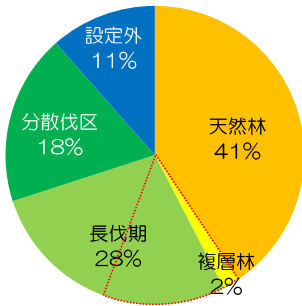
「レクリエーションの森」である「三瓶山風致探勝林」は島根県の中央部にあり、トロイデ型の休火山で、山麓には草原が広がります。風致探勝林は優れた自然景観を構成している森林等で、施設等の設置により自然探勝等の休養活動を助長する地域とされ、女三瓶山（写真中央）へは三瓶観光リフトにより山頂付近へのアクセスも容易です。

種類	名称	国有林名(市町村)	面積 (ha)
風致探勝林	三瓶山風致探勝林	三瓶山(飯南町)	106.97

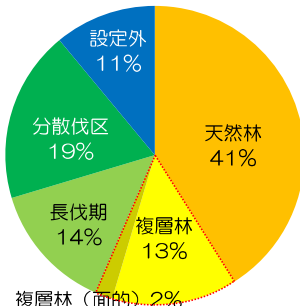
計画のポイント①「森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更」

○ 森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、帯状等による伐採と植栽により育成複層林へと誘導することとされています。
 このため、水源涵養タイプの人工林のうち一定の条件が見合うものについては、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群」及び「複層林施業群（面的）」へ変更しました。

現計画面積比率



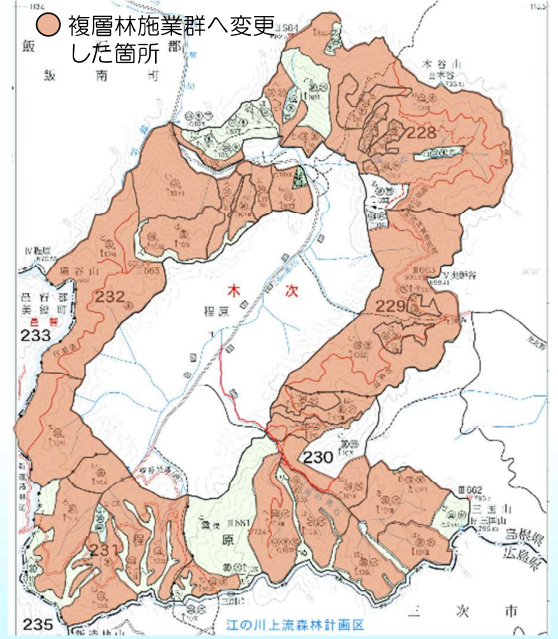
新計画面積比率



施業群	現計画 (ha)	新計画 (ha)	現計画比 (ha)	現計画比 (%)
設定外	582.76	557.28	-25.48	96%
長伐期	1,399.38	699.87	-699.51	50%
天然林	2,055.24	2,073.23	+17.99	101%
分散伐区	934.78	939.02	+4.24	100%
複層林	91.94	684.29	+592.35	744%
複層林(面的)	-	96.13	+96.13	割増

※面積は林地面積によります

複層林施業群へ変更した代表的な国有林



程原国有林（飯南町）

計画のポイント②「民有林と連携した施業の推進」

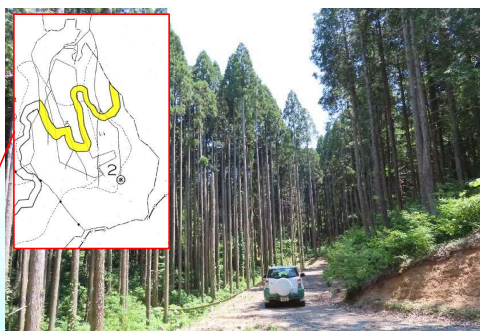
○ 地域における施業集約化の取組を支援するため、民有林と連携することで事業の効率化や森林経営管理制度の導入に資する区域については、森林整備協定を締結するとともに森林共同施業団地を設定し、民有林と連結した路網の整備と相互利用の推進、民有林と協調した計画的な間伐、現地検討会を通じた民有林への森林・林業技術の普及等に取り組みます。本計画区は4つの協定を締結しています。

名称（所在市町）	対象地		連携して行う取組み
程原・上赤名地域森林共同施業団地（飯南町）	民有林	375ha	間伐等の森林整備、路網の整備、路網、土場の共同利用、民有林への森林・林業技術の普及
	国有林	370ha	
八川地域森林共同施業団地（奥出雲町）	民有林	230ha	
	国有林	98ha	
井原谷・南谷地域森林共同施業団地（雲南市）	民有林	324ha	間伐等の森林整備、路網の整備、路網、土場の共同利用、民有林への森林・林業技術の普及
	国有林	119ha	
深野地域森林共同施業団地（雲南市）	民有林	1,101ha	
	国有林	565ha	

程原・上赤名地域森林共同施業団地



新設された林業専用道



女亀山官行造林（飯南町）

現地検討会の様子



八川国有林（奥出雲町）

アウル（地上レーザースキャナ）、ドローン（無人航空機）など、ICT技術を活用した高精度な森林情報を収集する方法の実演、林業の低コスト化に向けた伐採から植栽までを一体的に行う一貫作業システムの取組等を紹介し、課題や方策について意見の交換を行いました

計画のポイント③ 「特に保護を図るべき森林」

- 本計画区では、船通山国有林に希少個体群保護林1か所を設定しています。
この保護林は、地域を代表する自然植生であるブナ・ミズナラ・ホオノキ等の天然林及びその遺伝資源を保護しており、モニタリングや巡視等を行いながら厳格に保護・管理しています。

名称	面積	特徴	国有林名(市町村)
船通山ブナ・ミズナラ・ホオノキ等 遺伝資源希少個体群保護林	34.17ha	ブナ、ミズナラ等の天然林及び林木の遺伝資源の 保護・保存	船通山(奥出雲町)

保護林の登山道沿い林況



山頂付近の木道



山頂の様子：柵はカタクリ等希少植物の保護のための立入り制限

島根県は例年4月1日から6月30日を野生動植物違法採取防止強化期間と定め、関係機関や自然保護団体等の協力を得て、パトロール等を強化し、貴重な動植物の保護を呼びかけ、自然保護意識の啓発を図っています



計画のポイント④ 「木材の安定的な供給」

- 人工林資源の成熟に伴い主伐量が増加することを踏まえ、路網、架線、高性能林業機械を組合せて、林地保全に十分配慮した伐採・搬出に努めます。

【一貫作業システムによる複層林(帯状)造成】



八川国有林(奥出雲町)



ザウルスロボによる搬出路作設

(同左)



プロセッサによる集造材

(同左)

※一貫作業システムは、「伐採から再造林(地拵え・植栽)までを一連の流れで行う」作業方法です。伐採・搬出作業で利用する機械を同時進行的にそのまま再造林にも利用できるため、大幅な作業効率の向上・省力化が可能となります。
植栽に使用する苗木は、植栽時期を選ばないコンテナ苗を使用しています。

計画のポイント⑤ 「国民の参加による森林の整備」

- 企業による社会貢献活動の一環として行う森林整備活動、森林・登山道の管理等の象徴的な活動を支援するため、協定を締結して活動のフィールドを提供する「社会貢献の森」及び「多様な活動の森」を設定しています。



○社会貢献の森名称：
連合島根「ふれあいの森」
○協定相手方：
**日本労働組合総連合会
島根県連合会**
○面積：4.03ha
○所在：大志戸国有林
(雲南市)

※職員による森林環境教育の様子



○多様な活動の森名称：
安寿の森吉田
○協定相手方：
吉田寿会
○面積：8.16ha
○所在：吉田国有林
(安来市)

※鋸による木の切断体験の様子

新計画における主要事業量

区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	(158ha) 50,450㎡	(106ha) 35,403㎡	主伐を行う分収林の増加と、複層林へ誘導するための主伐を計画することに伴い、計画量が増加しています。
	間伐	(701ha) 82,628㎡	(834ha) 85,913㎡	間伐対象林分の減少に伴い、計画量が減少しています。
更新総量	人工造林	159.28ha	129.18ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新	2.78ha	3.43ha	天然更新対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。
保育総量	下刈	437.64ha	383.30ha	人工造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除伐	9.67ha	6.86ha	除伐対象箇所の増加に伴い、計画面積が増加しています。
林道事業	開設	—	2,450m	既存路線を使用して森林整備を行うため、計画量がありません。
	改良	700m	215m	豪雨等の被害があった修繕箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
治山事業	保全施設	4箇所	2箇所	荒廃地復旧箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
	保安林の整備	95.60ha	78.38ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

主伐（複層林へ誘導）予定地



船通山国有林（奥出雲町）

保育予定箇所



吉田国有林（安来市）

(注) 赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少

資料2-3

③ 尾鷲熊野森林計画区の地域管理経営計画等について（三重森林管理署）

国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、三重県南部の2市3町となっています。
- 国有林野面積は10,438haであり、森林計画区内の総土地面積に占める割合は11%、森林面積に占める割合は12%となっています。
- 計画区北部の尾鷲市、熊野市、紀北町に比較的大きな団地があるほか、計画区南部では熊野灘に面して海岸林が細長く連なっています。

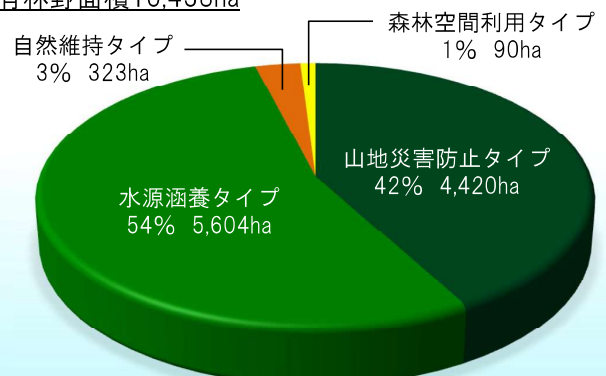


森林計画区内における森林面積の割合



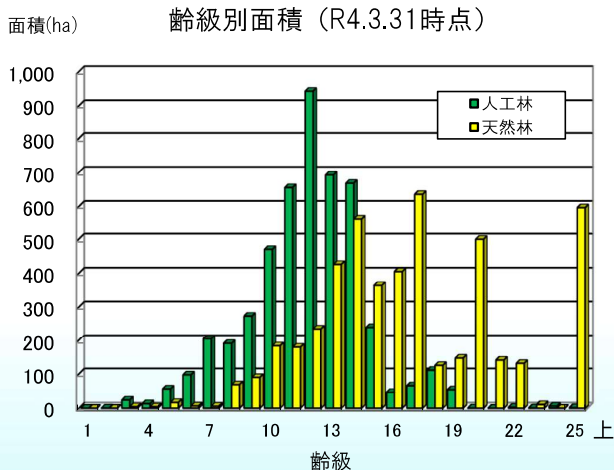
機能類型別森林面積

国有林野面積10,438ha

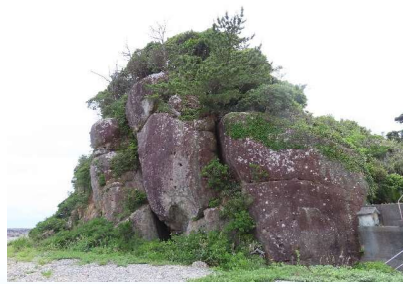


国有林野の特徴

- 森林計画区内の国有林は、急峻な地形となっており、温暖多雨の気候条件のもと、人工林面積の8割以上を占めるスギとヒノキを中心に森林整備を行っています。
- 熊野市、紀北町の奈良県境に近い国有林において、文政年間に植林されたとされる高齢級のスギの希少な個体群等を保護林として設定し、保護管理しています。
- 計画区南部の熊野灘に面した七里御浜国有林（熊野市、御浜町、紀宝町）に七里御浜風致探勝林（レクリエーションの森）を設定しており、保健休養の場などに利用されています。



七里御浜国有林の加持鼻王子跡



熊野参詣道沿いの王子社跡である加持鼻王子跡は、七里御浜国有林内にあり、世界文化遺産のコアゾーンとなっています。

七里御浜海岸のウミガメ



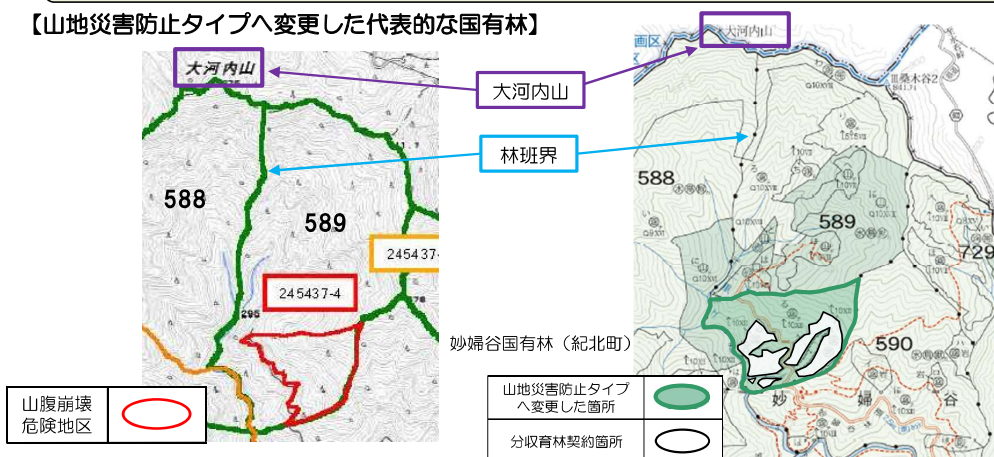
七里御浜国有林に隣接する七里御浜海岸は、アカウミガメが産卵に来ることで知られており、地元では産卵場所の保全活動やふ化の支援活動が行われています。写真は紀宝町の道の駅ウミガメ公園のウミガメです。

※ 年齢とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1年齢、6～10年生を2年齢、・・・と続きます。

計画のポイント①「災害に強い国土基盤の形成に向けての機能類型の変更」

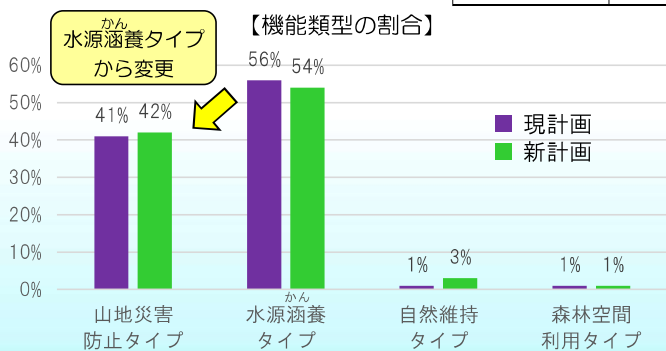
- 気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、事前防災・減災の考え方に立ち、山地災害危険地区等の機能類型を見直し、「山地災害防止タイプ」へ変更しました。

【山地災害防止タイプへ変更した代表的な国有林】

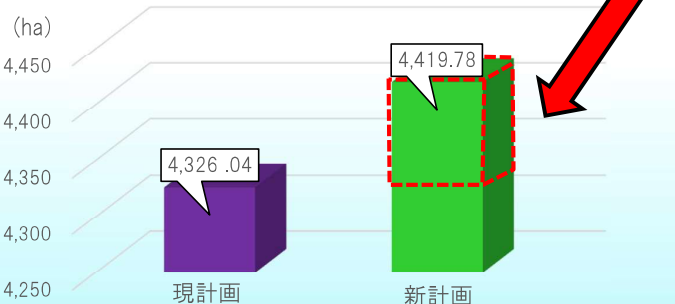


【機能類型変更箇所一覧】

市町村	国有林	面積 (ha)
尾鷲市	キヨラ谷	35.31
熊野市	大又	45.69
紀北町	妙婦谷	12.74
合計		93.74

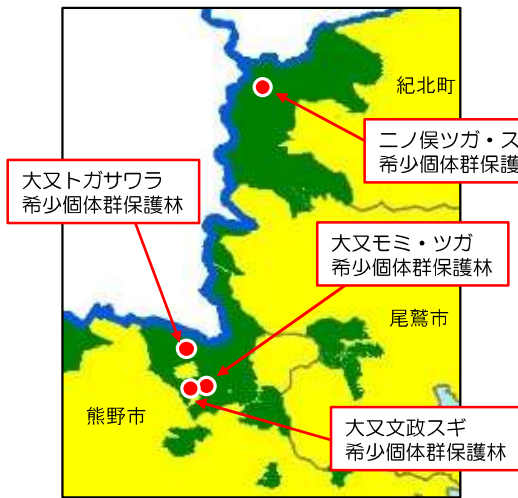


【山地災害防止タイプの面積】



計画のポイント②「特に保護を図るべき森林」

- ニノ俣国有林に1か所、大又国有林に3か所の希少個体群保護林を設定しており、モニタリング等を行いながら厳格に保護・管理します。
- 自然度の高い植生を有する国有林について、機能類型を「水源涵養^{かん}タイプ」から「自然維持タイプ」に変更し、ニノ俣ツガ・スギ希少個体群保護林や既存の同タイプの国有林と一体的に保全・管理します。

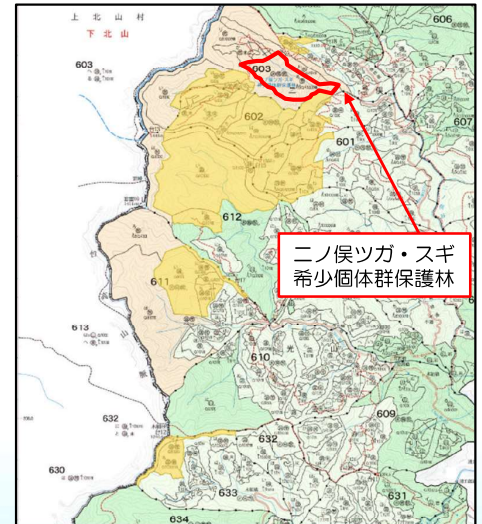


大又文政スギ希少個体群保護林



大又国有林（熊野市）

【自然維持タイプへ変更した国有林】



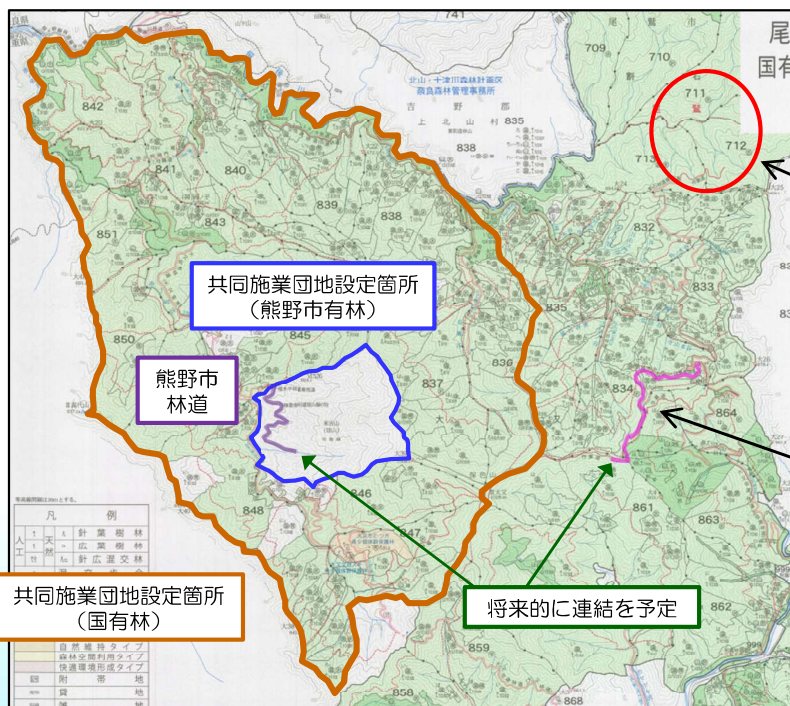
二ノ俣国有林、光山国有林（紀北町）

自然維持タイプへ変更した箇所
(変更面積：167.28ha)

名称	面積 (ha)	特徴
ニノ俣ツガ・スギ希少個体群保護林	12.55	スギ、ツガを主体とした天然生針葉樹林の保護
大又トガサワラ希少個体群保護林	7.10	当地方の希少な樹種であるトガサワラ林の保護
大又モミ・ツガ希少個体群保護林	9.67	モミ・ツガの高齢級林分の保護
大又文政スギ希少個体群保護林	1.50	文政年間に植林されたスギ林の保護

計画のポイント③「林道等の路網整備」

- 林産物の搬出、森林の育成、適切な保全管理等を効率的に行うため、自然・社会的条件を考慮しつつ、林道等の路網を計画的に整備します。
- 「森林共同施業団地」における施業の共同化・効率化をより加速させ、国有林内の林業専用道と民有林内の林道とを連結させるため開設を行っています。

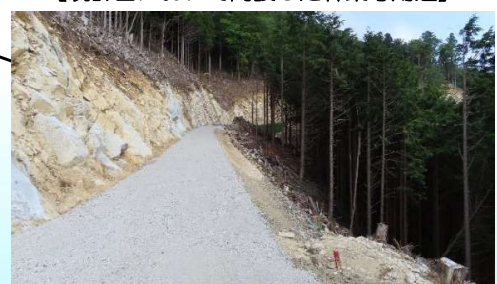


【林業専用道開設予定箇所】



割石国有林（尾鷲市）

【現計画において開設した林業専用道】



大又国有林（熊野市）

計画のポイント④「木材の安定的な供給」

- 列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進します。
- 木材の搬出にあたっては、表土が浅く急峻で起伏の激しい地形となっていることから、主に架線を使用した集材を行っています。

【列状間伐】

一定間隔ごとの列を機械的に伐採するため、選木に要する時間が短縮でき、集材が容易になることから、生産性を高めることが可能となります。



大又国有林（熊野市）

【プロセッサによる造材作業】

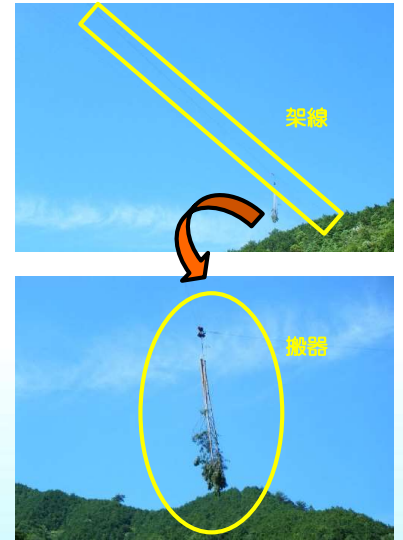
伐倒した木材を、林業専用道や森林作業道等の路網沿いや土場に集積し、プロセッサにより枝葉を取り除いたり設定した長さにより玉切って丸太に加工します。



大又国有林（熊野市）

【架線集材】

急峻で尾根や谷が入り組む複雑な地形の地域では、森林作業道等の路網整備が困難であるため、架線により集材を行っています。



古和谷国有林（尾鷲市）

計画のポイント⑤「公衆の保健のための活用の推進」

- 七里御浜風致探勝林に隣接する七里御浜は、白い砂浜と緑の松林、遠くに紀伊の山々を望む美しい景観を呈しています。海岸に面している七里御浜風致探勝林は、防風林として生活を守るとともに、ウォーキングや散策といった保健休養の場としても利用されています。

白波の海と砂浜とも調和する七里御浜風致探勝林



七里御浜国有林（熊野市、御浜町、紀宝町）

防風機能を発揮する国道沿いの国有林



七里御浜国有林（熊野市、御浜町、紀宝町）

ウォーキング等の保健休養の場となっている林内



七里御浜国有林（熊野市、御浜町、紀宝町）

種類	名称	面積 (ha)	既存施設
風致探勝林	七里御浜風致探勝林	80.31	管理歩道、遊歩道、休憩所 休憩舎、公衆トイレ

新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増 減 事 由
伐採総量	主 伐	(83ha) 33,835m ³	(30ha) 8,107m ³	主伐を行う分収林の増加に伴い、計画量が増加しています。
	間 伐	(1,071ha) 139,873m ³	(1,277ha) 165,590m ³	間伐対象林分の減少に伴い、計画量が減少しています。
更新総量	人工造林	105.04ha	49.17ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新	17.96ha	19.64ha	天然更新対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。
保育総量	下 刈	315.12ha	133.31ha	人工造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除 伐	9.83ha	27.28ha	除伐対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。
林道事業	開 設	2,100m	3,750m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が減少しています。
	改 良	3,600m	1,900m	豪雨等の被害があった修繕箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
治山事業	保全施設	9箇所	20箇所	荒廃地復旧箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
	保安林の整備	55.39ha	131.81ha	整備対象森林の減少に伴い、計画面積が減少しています。

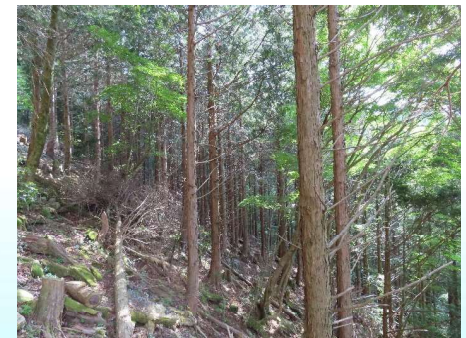
(注) 赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少

主伐予定箇所



妙婦谷国有林（紀北町）

間伐予定箇所



大又国有林（熊野市）

資料2-4

④ 大和・木津川森林計画区の地域管理経営計画等について（奈良森林管理事務所）

国有林野の基本データ

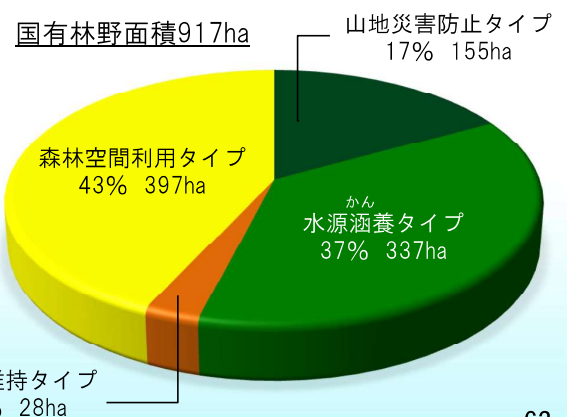
- 森林計画区の区域は、奈良県北部の11市12町4村となっています。
- 国有林野面積は917haで、都市近郊を中心に点在しており、森林計画区内の総土地面積に占める割合は0.7%、森林面積に占める割合は1.3%となっています。



森林計画区内における森林面積の割合



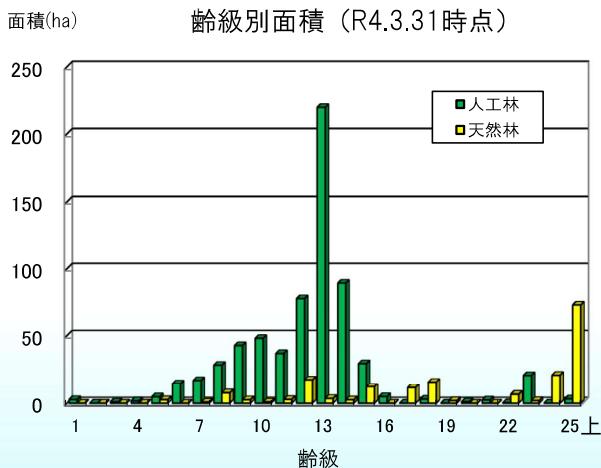
機能類型別森林面積



凡 例	
国有林野	
森林計画区	

国有林野の特徴

- 「金剛生駒紀泉国定公園」等の自然公園に指定されている国有林もあり、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されています。また、計画区南西部において、風景林2か所を「レクリエーションの森」に設定しており、奈良盆地にたたずむ雄大な大和三山などを楽しむことができます。
- 修験の山、地域の山として多くの人々に親しまれている金剛山の山頂西側に位置する国有林内に、希少個体群保護林を1か所設定し、保護管理しています。



※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、・・・と続きます。

地獄谷国有林の春日山石窟仏



別名「石切峠の六仏」とも言われ、石仏は厚肉彫りで、東西2つの石窟に大日如来、阿弥陀如来、地蔵などが多数あります。藤原時代の代表的な石仏として知られており、大正13年に国指定の史跡となっています。

春日奥山古事の森の啓発

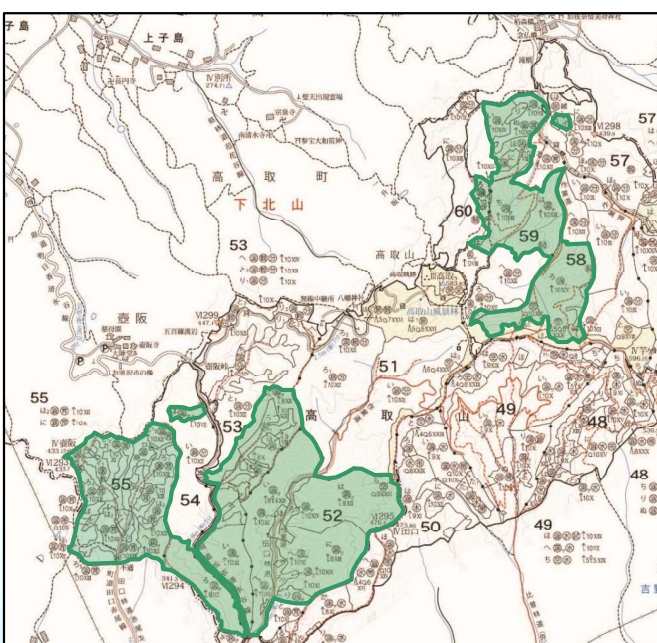


奈良盆地周辺には歴史的建造物が多数あり、修復等に必要の大木を育成することを目的とした「古事の森」を春日山原始林に隣接する地獄谷国有林内に設定しています。古事の森の啓発活動の一環として、令和4年度は興福寺を会場としてイベントを開催しました。

計画のポイント①「災害に強い国土基盤の形成に向けての機能類型の変更」

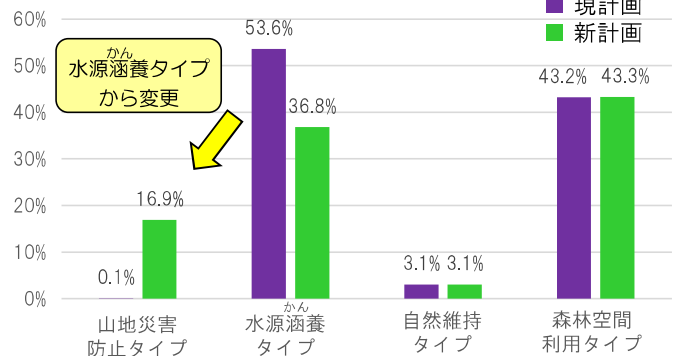
- 気候変動による豪雨の増加等に伴い、事前防災・減災の考え方に立ち、もろく崩れやすい土質で、比較的近距离に集落や田畑があり、下流域において土砂災害警戒区域に指定されている高取山国有林（高取町）の機能類型を「山地災害防止タイプ」へ変更しました。

【山地災害防止タイプへ変更した代表的な国有林】

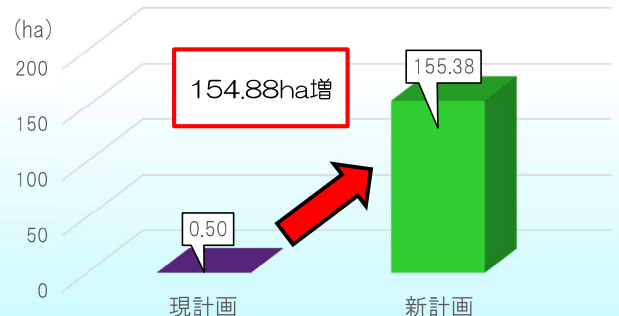


山地災害防止タイプへ変更した箇所

【機能類型の割合】



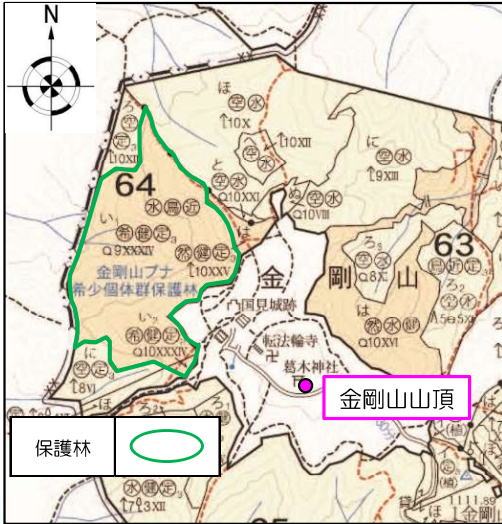
【山地災害防止タイプの面積】



計画のポイント②「特に保護を図るべき森林」

- 金剛山国有林に希少個体群保護林1か所を設定しています。
保護対象は、近畿地方南部では希少なブナ群落で、モニタリングや巡視等を行いながら厳格に保護・管理します。

金剛山ブナ希少個体群保護林



金剛山国有林（御所市）

名称	面積 (ha)	特徴
金剛山ブナ希少個体群保護林	16.21	島状に隔離分布する希少なブナ群落の保護

計画のポイント③「山地災害への対応」

- 豪雨等により荒廃した山地において、山腹斜面の安定化を図る山腹工、荒廃溪流への治山ダムを設置するとともに、平成29年度の台風21号により発生した山腹崩壊箇所の復旧工事を引き続き計画しています。

【山腹工施工箇所】

豪雨により被災した山腹斜面



山腹工により復旧



金剛山国有林（御所市）

【溪間工施工箇所】

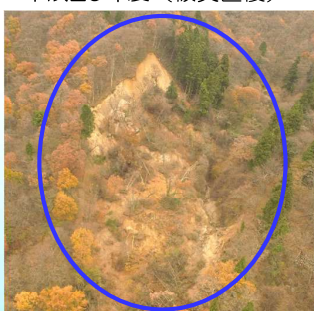
県道に近い溪流で治山ダムを設置



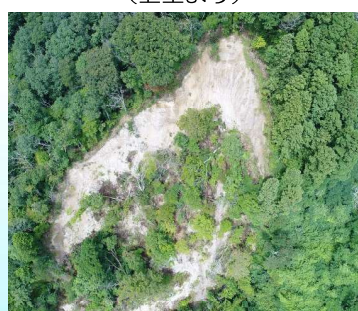
高取山国有林（高取町）

【新計画での山腹工計画箇所】

平成29年度（被災直後）



令和4年度当初の状況
（上空より）



令和4年度当初の状況
（近景）



金剛山国有林（御所市）

計画のポイント④「公衆の保健のための活用の推進」

- 大和三山風景林は、万葉集や古今和歌集をはじめとして、古くから数多くの詩歌に詠まれ、悠久の時を超えてたたずむ姿は、現在も藤原宮跡などから望むことができます。
- 高取山風景林は、風景林内の山頂付近を中心に国指定史跡「高取城跡」に指定され、城跡内には往時から生育すると思われるスギの巨木が見られ、城跡からの眺望は、奈良盆地一帯が見渡せます。

【歴史的な由緒と美しい景観を有する大和三山風景林】

【紅葉の高取山風景林】

百人一首

春すぎて 夏来にけらし 白妙の天の香久山
衣ほすてふ



耳成山、香久山、畝傍山国有林（橿原市）

藤原宮跡から望む大和三山風景林



耳成山



畝傍山



香久山



高取山国有林（高取町）



城郭内のスギ巨木

種類	名称	面積 (ha)	既存施設
風景林	大和三山風景林	64.32	遊歩道
風景林	高取山風景林	14.19	県道

計画のポイント⑤「森林環境教育の推進」

- 国有林野の豊かな森林環境を子どもたちに提供するため、学校、自治体、NPO、森林インストラクター、民有林関係者等と連携し、森林環境教育に取り組みます。

【遊々の森「森の幼稚園ひかり」】

遊々の森において、幼稚園を対象とした自然観察会開催時の様子

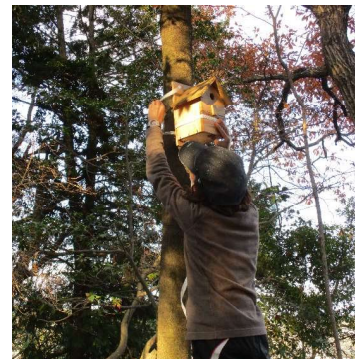


大亀谷国有林（奈良市）



大亀谷国有林（奈良市）

遊々の森での巣箱の設置



大亀谷国有林（奈良市）

【地域のイベント等における森林環境教育の取組】

木工教室



クラフト体験



紙芝居の実演



東京都から来所した中学生の自調自考学習の様子



次期計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増 減 事 由
伐採総量	主 伐	(76ha) 37,522m ³	(86ha) 33,139m ³	計画面積は減少しているものの、計画量（材積）は増加しています。
	間 伐	(76ha) 10,407m ³	(78ha) 8,751m ³	計画面積に大差はないものの、計画量（材積）は増加しています。
更新総量	人工造林	119.52ha	69.10ha	現計画で主伐を実施した箇所が現在搬出中であることから、計画面積が増加しています。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下 刈	365.58ha	208.10ha	人工造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除 伐	—	2.04ha	除伐対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。
林道事業	開 設	—	—	—
	改 良	—	30m	森林整備に必要な路線での修繕箇所がないことから、計画量が減少しています。
治山事業	保全施設	3箇所	2箇所	荒廃地復旧箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
	保安林の整備	29.47ha	20.51ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少

間伐予定箇所



菩提山国有林（奈良市）

保育予定箇所



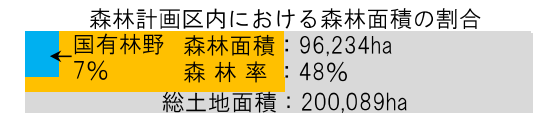
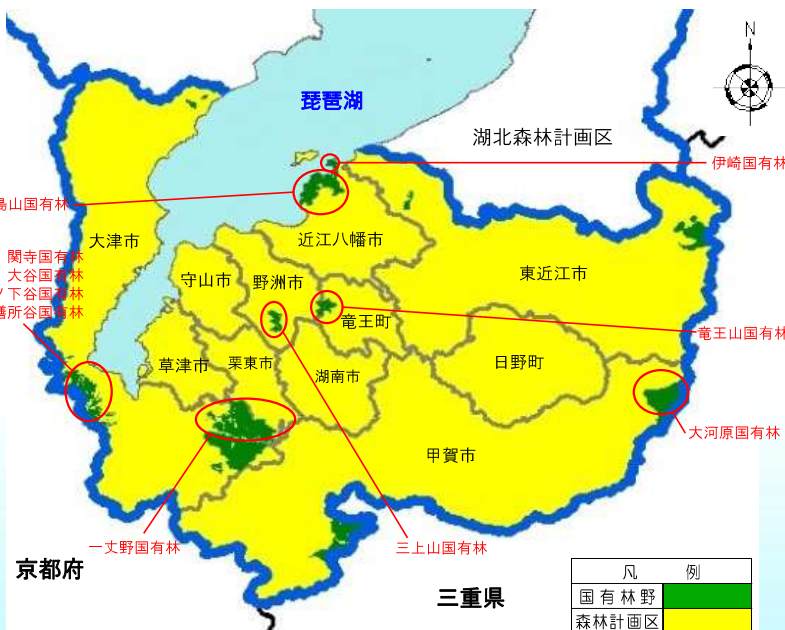
高取山国有林（高取町）

資料2-5

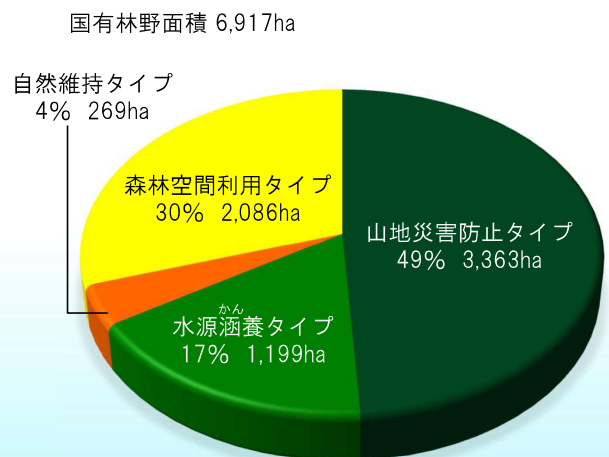
⑤ 湖南森林計画区の地域管理経営計画等について（滋賀森林管理署）

国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、滋賀県南部の6市1町となっています。
- 国有林野は6,917haであり、森林計画区内の総土地面積に占める面積割合は3%、森林面積に占める割合は7%となっています。
- 東部の鈴鹿山脈一帯、南部の三重県境、中南部の丘陵地帯、湖岸、大津市郊外に散在しています。



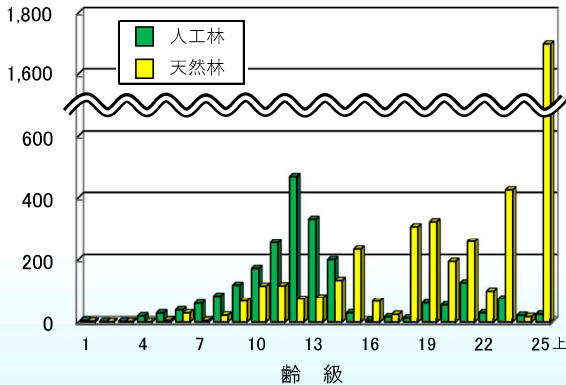
機能類型別森林面積



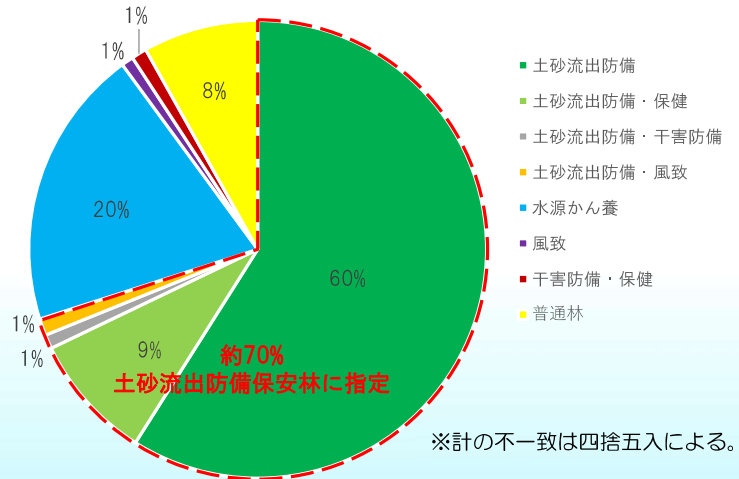
国有林野の特徴

- 森林面積のうちアカマツやコナラ等の二次林が66%を占めています。国道一号線沿いの京都府との県境に位置する国有林内の一部に「希少個体群保護林」を1箇所設定しています。
- 国有林野の70%は土砂流出防備保安林に指定されており、山地災害防止、土壌保全等の機能の発揮が求められています。
- 都市近郊に所在する国有林野は、都市住民の保健休養の場としても重要な役割を果たしているとともに、優れた森林景観及び豊富な観光資源に恵まれていることから、ハイキングなど森林を利用したレクリエーションの場として多くの人に利用されています。

面積(ha) 齢級別面積 (R4.3.31時点)



普通林・保安林割合



※ 齢級とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1 齢級、6～10年生を2 齢級、・・・と続きます。

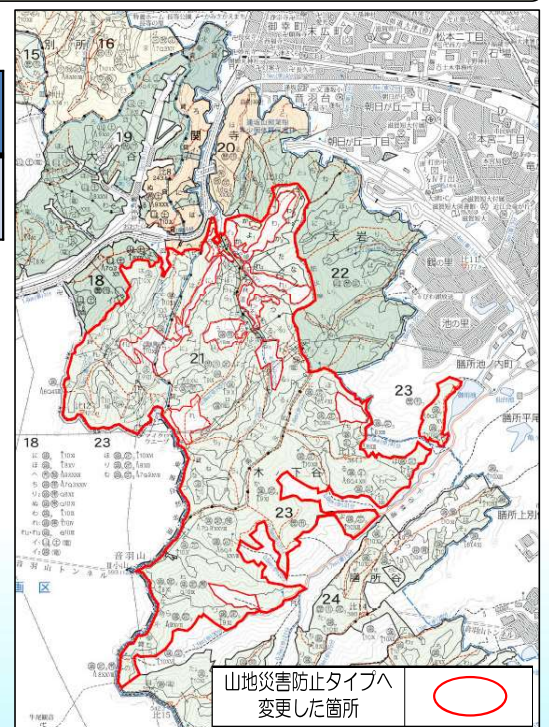
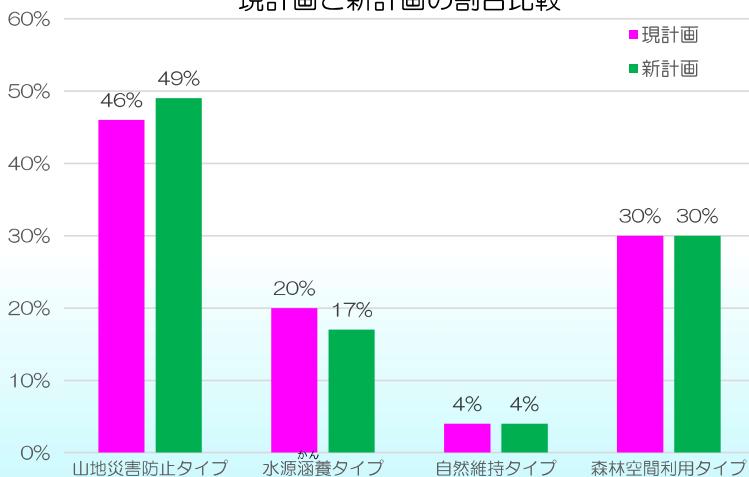
計画のポイント①「災害に強い国土基盤の形成に向けての機能類型の変更」

- 気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、下流に重要な保全対象があり土砂流出の著しい区域や崩壊、土砂流出のおそれがある区域等について、「水源涵養タイプ」から「山地災害防止タイプ」へ変更しました。(分収林契約地等を除く)

【山地災害防止タイプへ変更した国有林】

新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	国有林 (市町村)	変更前の機能類型
3,362.56	3,154.20	+208.36	木ノ下谷、関寺 (大津市)	水源涵養タイプ

現計画と新計画の割合比較



木ノ下谷・関寺国有林 (大津市)

計画のポイント②「山地災害への対応」

- 治山事業は、自然環境の保全へ配慮し、木材利用、コスト縮減等に努めながら、荒廃地の整備、災害復旧、保安林の整備等を計画的に実施します。
- 平成30年9月の台風21号等により荒廃した山地について、山腹斜面の安定化を図る山腹工、荒廃溪流への治山ダムを設置などを重点的に実施し、地域の安全・安心の確保に努めます。

【京阪電車線路沿いの山腹斜面に施工した山腹工（関寺国有林（大津市））】



【荒廃溪流への治山ダムの設置】



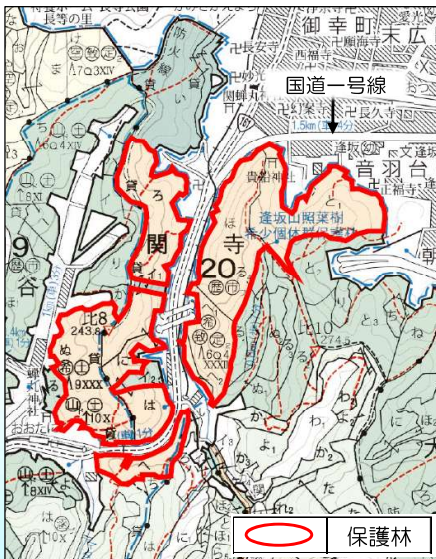
治山事業の実績と予定

種別	現行計画の実績	次期計画の予定
渓間工	4箇所	5箇所
山腹工	9箇所	4箇所
本数調整伐	69.17ha	41.01ha

計画のポイント③「特に保護を図るべき森林」

- 希少な野生生物の生育・生息に必要な森林等を保護するため、大津市に所在する木ノ下谷国有林外に1か所の希少個体群保護林を設定しており、モニタリングや巡視等を行いながら厳格に保護・管理しています。

保護林区分名称	面積 (ha)	国有林名 (市町村)	特徴
逢坂山照葉樹希少個体群保護林	29.85	木ノ下谷、大谷、関寺 (大津市)	高齢級のカシ、シイ等の照葉樹を主体とした針広混交林の保護



国道一号線沿いの保護林



関寺・木ノ下谷国有林 (大津市)

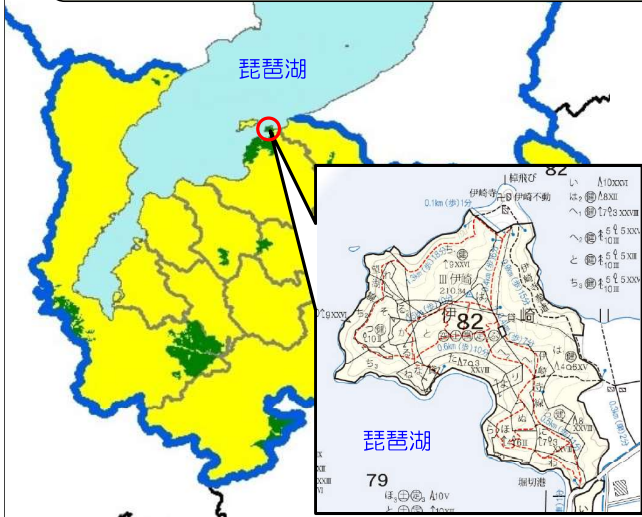
林内の状況



関寺国有林 (大津市)

計画のポイント④「カワウの被害対策」

- 琵琶湖に接面する伊崎国有林では、カワウの集団営巣地が形成され、ふん害等により樹木が枯死するなどの植生被害が拡大していたことから、平成18年度から枯損した箇所を中心に枯損木の伐採を行い、ウラジロガシ等を植栽しています。また、県、市町、有識者及びNPO等と連携し、森林被害対策の検証やモニタリング調査等も実施しています。
- 近年はカワウの営巣は確認されていませんが、引き続きボランティア団体等と連携のうえ森林生態系保全・回復対策に取り組みます。

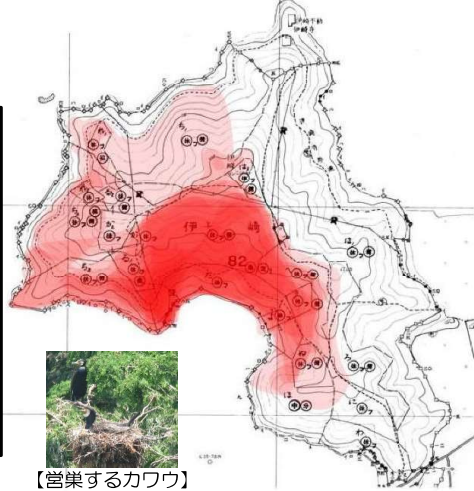


平成4年～令和3年までの分布範囲
(色が濃い程営巣していた)

【営巣状況調査の様子】



枯損したヒノキ林の伐採跡地に
植栽した植栽木の様子



【営巣するカワウ】

調査年度	H17	H18	H19	H20	H25	H29	H30	R1	R2	R3
最大確認営巣数	341	326	435	459	186	5	0	0	0	0

※カワウの営巣数は、繁殖期（5月又は6月）のデータを使用。
(令和3年度伊崎国有林におけるカワウによる森林影響調査報告書より資料抜粋)

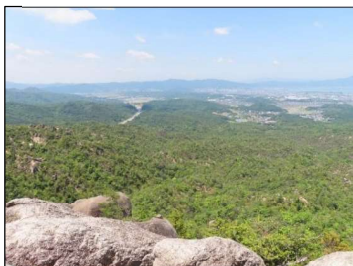
伊崎国有林（近江八幡市）

計画のポイント⑤「公衆の保健のための活用の推進」

- 国民の保健・文化・教育的利用に積極的に供することが適当と認められる国有林野を「レクリエーションの森」として、広く国民に開かれた利用に供します。
- 近江湖南アルプス自然休養林は、優れた景観を有しており、「日本美しい森お薦め国有林」に選定されています。花崗岩の岩塊群が作り出す独特の景観は「湖南アルプス」と呼ばれ、多数のハイキングコースがあり、琵琶湖まで見渡せる素晴らしい眺望が広がっています。

【近江湖南アルプス自然休養林】

車いすやベビーカーを利用して
天狗岩からの眺望



一丈野国有林（大津市）

森林内の散策が可能（たまみずきの道）



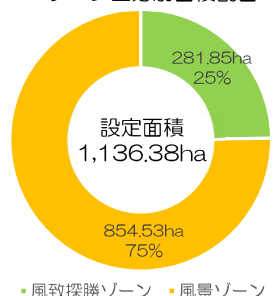
一丈野国有林（大津市）

明治22年に造られたオランダ堰堤



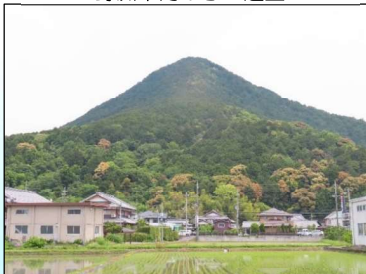
民地・一丈野国有林（大津市）

近江湖南アルプス自然休養林
ゾーン区分別面積割合



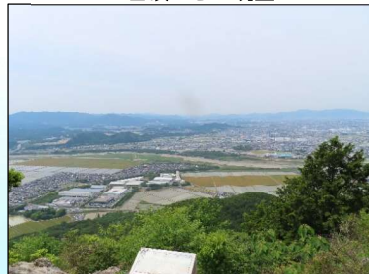
【近江富士風景林】

野洲市内からの遠望



三上山国有林（野洲市）

山頂からの眺望



レクリエーションの森

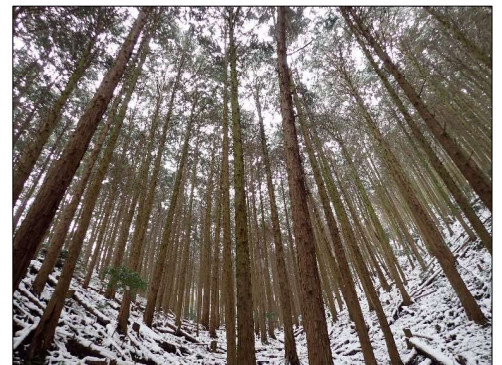
種類	名称	面積 (ha)	既存施設
自然休養林	近江湖南アルプス自然休養林	1,136.38	遊歩道、管理舎、休憩所、治山の森、駐車場
風景林	近江富士風景林	98.62	遊歩道

新計画における主要事業量

区分	新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐 (16ha) 6,009m ³	(28ha) 10,082m ³	主伐を行う分収林の減少に伴い、計画量が減少しています。
	間伐 (303ha) 33,731m ³	(325ha) 32,612m ³	計画面積は減少しているものの、計画量(材積)は増加しています。
更新総量	人工造林 31.56ha	28.10ha	現計画主伐箇所の新更新未済箇所があることに伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新 -	-	-
保育総量	下刈 113.95ha	87.09ha	人工造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除伐 1.38ha	13.95ha	除伐対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。
林道事業	開設 2,990m	1,430m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が増加しています。
	改良 180m	490m	豪雨等の被害があった修繕箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
治山事業	保全施設 9箇所	38箇所	荒廃地復旧箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
	保安林の整備 69.17ha	41.01ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少

主伐予定箇所



膳所谷国有林 (大津市)

間伐予定箇所



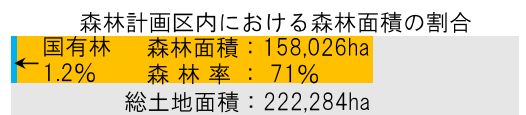
大河原国有林 (甲賀市) 78

資料2-6

⑥ 淀川上流森林計画区の地域管理経営計画等について (京都大阪森林管理事務所)

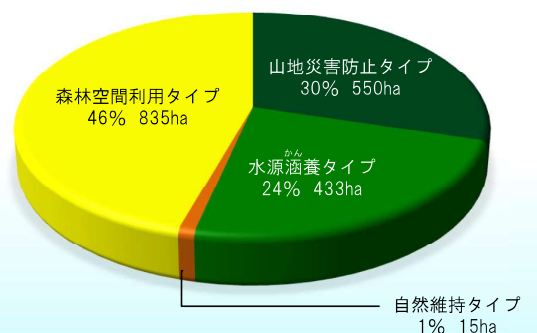
国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、京都府南部の3市1町となっています。
- 国有林野は1,833haであり、森林計画区内の総土地面積に占める面積割合は0.8%、森林面積に占める割合は1.2%となっています。
- 国有林の約8割が京都市内に散在するほか、京都府南部の山城地域に所在しています。



機能類型別の割合

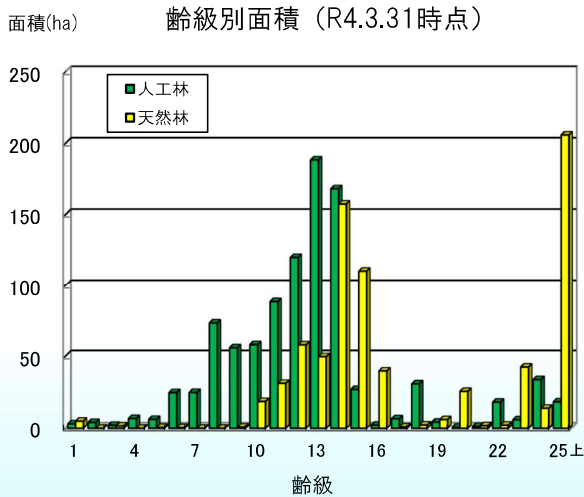
国有林野面積 1,833ha



※計の不一致は四捨五入による。

国有林野の特徴

- 国有林野のうち46%が土砂流出防備保安林に指定されており、市街地に隣接する国有林野は国土保全等の公益的機能の発揮に寄与するとともに、日本を代表する古都京都の主要な景勝地や神社仏閣の背景林の位置にあることから、風致保全上重要な役割を担っています。
- 京都一周トレイルをはじめとして、ハイキングなどのレクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されています。
- このほか、歴史的木造建造物の維持・修繕のために必要な^{ひわだ}檜皮の供給なども行っています。



左大文字の山裾が国有林 (銀閣寺山国有林周辺)



銀閣寺山国有林 (京都市)

文化財修復用材を育成する森林 (京都古事の森)



鞍馬山国有林 (京都市)

子安の塔から清水の舞台 (背景林が高台寺山国有林)



高台寺山国有林 (京都市)

京都一周トレイル (東山コース)



高台寺山国有林 (京都市)

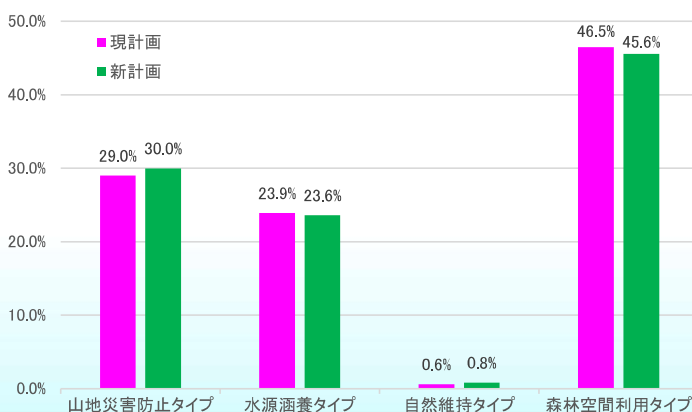
※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、・・・と続きます。

計画のポイント①「災害に強い国土基盤の形成に向けての機能類型の変更」

- 気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、事前防災・減災の考え方に立ち、計画区内の山地災害危険地区(山腹崩壊危険地区43箇所)の機能類型を見直し、うち1箇所(17.64ha)を「山地災害防止タイプ」へ変更しました。
- また、分収造林契約の一部解除(0.20ha)を行った箇所についても、山地災害危険地区に隣接することから山地災害防止タイプに変更しました。

機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	国有林 (市町村)	変更前の機能類型
山地災害防止タイプ	549.81	531.97	+17.84	神山(京都市) 山吹山(井手町)	森林空間利用タイプ(17.64ha) 水源涵養タイプ(0.20ha)

現計画と新計画の機能類型割合比較



山地災害防止タイプへ変更した代表的な国有林



神山国有林 (京都市)

計画のポイント②「山地災害への対応」

- 平成30年9月の台風21号や令和2年7月の集中豪雨の影響により、京都市内の国有林で大規模な風倒木被害や山腹崩壊が発生しました。
- 家屋や鉄道・道路の直上など危険度の高い場所から優先して、風倒木の撤去、落石防護柵の設置、強度の高いネットの敷設等の対策を進めており、今後も関係機関と連携・協力し、地域の安全・安心の確保を図るための治山対策を推進していきます。

風倒木被害地の再生



▲【京都府京都市 貴船山国有林：山腹工 復旧状況】



▲【京都府京都市 貴船山国有林：山腹工 施工状況】

都市近郊部における治山対策



▲【京都府京都市 嵐山国有林：令和2年7月集中豪雨による山腹崩壊発生】



法面整形後、鋼製柵工、表面侵食防止対策を実施

モミジ、ヤマザクラなどの植栽を実施

獣害対策のため防鹿柵を設置

▲【京都府京都市 嵐山国有林：山腹工 復旧状況】

計画のポイント③「世界文化遺産貢献の森林」

- 世界文化遺産「古都京都の文化財」に指定されている計17箇所の寺院、神社、城のうち、京都市内に14箇所の寺院等が所在しています。
- 本計画区では、世界文化遺産に隣接する高台寺山国有林などに世界文化遺産貢献の森林を設定し、檜皮の供給や原皮師の養成の場、歴史的木造建造物の修復用材を備蓄・供給する場、文化的景観の森林の保全を図る場及び森林と文化財のかかわり等を学習する場として整備を行い、森林の重要性や森林と文化財のかかわり等を普及する象徴的・総合的な拠点となるよう取り組んでいます。

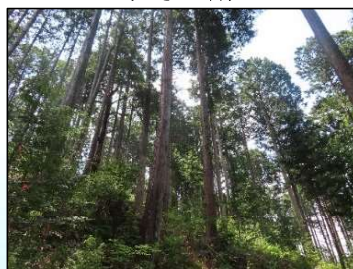
名称	国有林 (市町村)	面積 (ha)	設定ゾーン
世界文化遺産貢献の森林 (京都市内の国有林)	高台寺山外17 (京都市)	714.20	檜皮の森林ゾーン、文化財用材の森林ゾーン 風致の保全ゾーン、森林と文化財の学びゾーン

檜皮の森林ゾーン
(檜皮採取状況)



鞍馬山国有林 (京都市)

文化財用材の森林ゾーン
(古事の森)



鞍馬山国有林 (京都市)

風致の保全ゾーン
(嵐山国有林林内)



嵐山国有林 (京都市)

森林と文化財の学びゾーン
(アカマツ植樹状況)



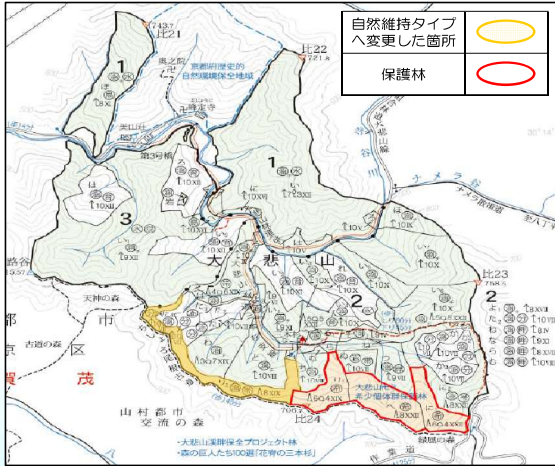
銀閣寺山国有林 (京都市)

計画のポイント④「特に保護を図るべき森林」

- 希少な野生生物の生育・生息に必要な森林等を保護するため、京都市北部に所在する大悲山国有林に1か所の希少個体群保護林を設定しており、モニタリングや巡視等を行いながら厳格に保護・管理しています。
- 既設保護林に隣接し、自然度の高い植生を有する箇所について、機能類型を「水源涵養タイプ」から「自然維持タイプ」に変更し、隣接する保護林と一体的に保全・管理します。

保護林区分名称	面積 (ha)	国有林名 (市町村)	特徴
大悲山モミ希少個体群保護林	10.24	大悲山 (京都市)	京都市北部地方の自然植生を代表するモミを主体とした高齢級天然林の保護

自然維持タイプへ変更した国有林



保護林内の現況



保護林内のモミ



自然維持タイプへの変更箇所



機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)
自然維持タイプ	15.02	10.24	+4.78

大悲山国有林 (京都市)

計画のポイント⑤「巨樹・巨木の保護」

- 次世代への財産として健全な形で残していくべき巨樹・巨木について、国民による自主的な保全活動の推進を含め、表示板の設置、周辺森林環境の整備等の保護活動に努めます。
- 本計画区には、国有林の代表的な巨樹・巨木として「森の巨人たち100選」(全国の国有林を対象に林野庁が選定)に選ばれた「花脊の三本杉」があることから、地元市町村等との連携の下、適切な保護管理に努めます。
 なお、平成29年度に測定器を用いて樹高が測定され、最も高いもので62.3mとなり測定器を用いて測った樹木において、**現存するものとしては日本一**となります。

上空から撮影
(○：樹高日本一のスギの樹冠)



測定結果 (平成29年調査時点)

	幹周り	樹高
東幹	639cm	62.3m
北西幹	615cm	60.7m
西幹	608cm	57.2m

はなせ
花脊の三本杉



樹高の順位を記載した看板を設置



【花脊の三本杉】

古くから白鷹竜王の宿る木とされ、^{ぶじょうし}峰定寺のご神木としてしめ縄が張られるなど、大切に守られてきました。

3幹1株となって生えており、枝下高は6~8mで直立幹を形成し、樹齢は1200年と推定されています。(京都府の「京都の自然200選」にも選ばれています。)

大悲山国有林 (京都市)

計画のポイント⑥「公衆の保健のための活用の推進」

- 「レクリエーションの森」である「嵐山風景林」及び「東山風景林」が、特に景観等の優れている「日本美しい森お薦め国有林」に選定されています。
- 嵐山風景林は、京都市の西部を流れる大堰川右岸に位置し、渡月橋から上流左手に見える森林のほぼ全域で、渡月橋や天龍寺等の寺院の背景林として、春は桜、秋は紅葉などの景観美を楽しむことができます。
- 東山風景林は、京都市街の東側に位置する国有林からなり、東山三十六峰のうちの十四峰を占め、市街地から穏やかな山容が眺望できる京都市のシンボルといえ、銀閣寺、清水寺、八坂神社、南禅寺といった社寺仏閣の背景林として親しまれています。

渡月橋・大堰川と渾然一体となった嵐山風景林



嵐山国有林（京都市）

清水の舞台から望む東山風景林



高台寺山国有林（京都市）

種類	名称	国有林名（市町村）	面積（ha）	既存施設
風景林	嵐山風景林	嵐山（京都市）	59.89	施設なし
風景林	東山風景林	銀閣寺山、不動山、南禅寺山、大日山、高台寺山、阿弥陀ヶ峯（京都市）	190.25	東屋、展望台、遊歩道

新計画における主要事業量

区分	新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐 (30ha) 10,933m ³	(21ha) 6,831m ³	主伐を行う分収林の増加に伴い、計画量が増加しています。
	間伐 (230ha) 25,810m ³	(254ha) 28,055m ³	間伐対象林分の減少に伴い、計画量が減少しています。
更新総量	人工造林 37.75ha	13.32ha	主伐計画の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新 2.35ha	4.79ha	天然更新対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。
保育総量	下刈 135.68ha	40.80ha	人工造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除伐 1.38ha	9.91ha	除伐対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。
林道事業	開設 -	824m	既存路線を使用して森林整備を行うため、計画量がありません。
	改良 236m	-	豪雨等の被害があった修繕箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
治山事業	保全施設 21箇所	22箇所	荒廃地復旧箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
	保安林の整備 39.62ha	6.45ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少

主伐予定箇所



醍醐山国有林（京都市）

間伐予定箇所

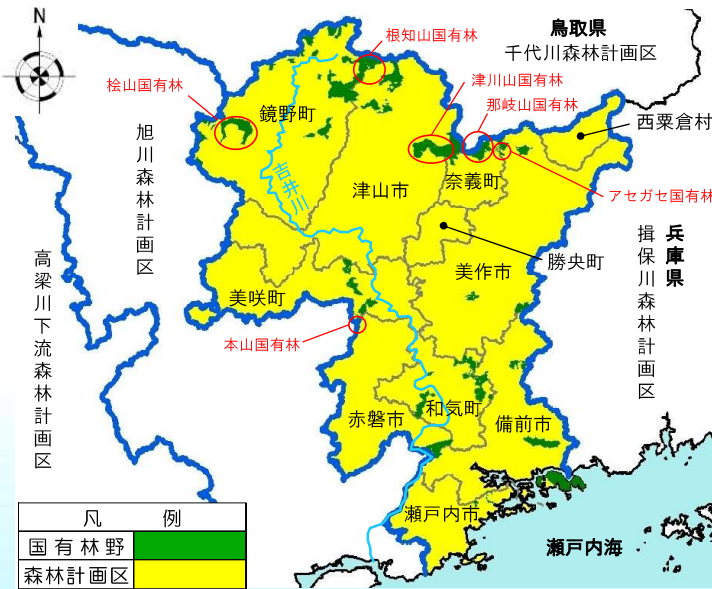


鞍馬山国有林（京都市）

⑦ 吉井川森林計画区の地域管理経営計画等について（岡山森林管理署）

国有林野の基本データ

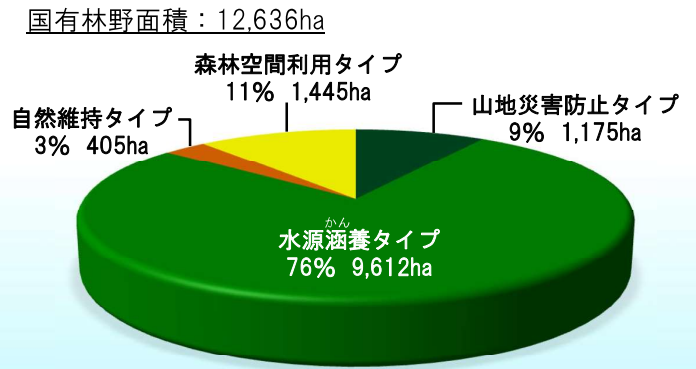
- 森林計画区の区域は、岡山県東部の5市5町1村となっています。
- 国有林野は12,636haであり、計画区総土地面積の5%、森林面積の7%を占めています。
- 岡山県北部の中国山地の脊梁地帯、中部の吉井川中流から南部の瀬戸内海島しょ部にかけて大小の団地が散在しています。



森林計画区内における森林面積の割合



機能類型別森林面積

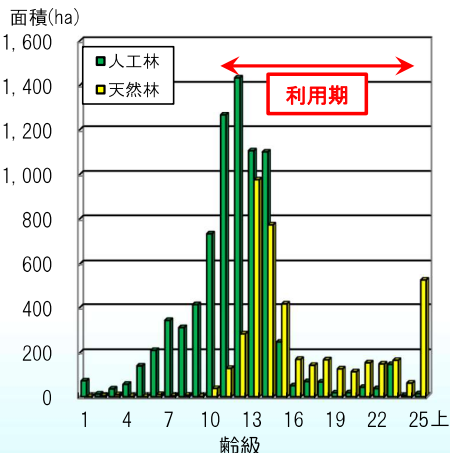


吉井川森林計画区

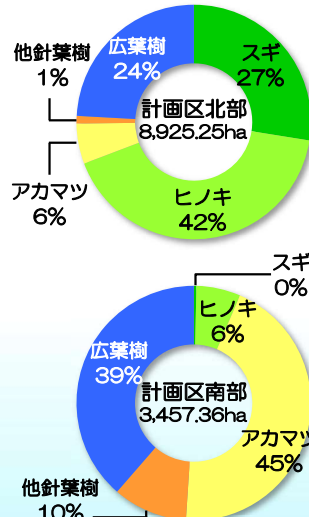
国有林野の特徴

- 人工林面積が7,945haと国有林野面積の6割以上を占め、人工林の森林蓄積のうち約9割が利用期を迎えており、恵まれた人工林資源を有しています。
- 計画区北部はスギ・ヒノキ等の人工林が8割を占め、水源涵養機能の発揮及び木材の安定供給を重視する一方、南部は広葉樹及びアカマツ等の天然林が8割を占め、保健文化・土砂災害防止機能の発揮を重視した管理を行っています。
- 計画区北部に所在するアセガセ国有林では、「森林共同施業団地」を設定し、民有林と連携して森林整備や木材生産に取り組んでいます。

年齢別面積 (R4.3.31時点)



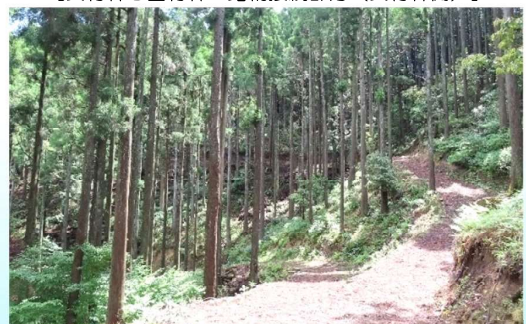
樹種別面積割合



奈義町馬桑地域森林共同施業団地

	協定締結者	連携して行う取組
民有林	68ha 岡山県、奈義町森林組合	間伐等の森林整備、路網整備、路網、土場の共同利用
国有林	37ha 岡山森林管理署	

【民有林と国有林の路網接続部分（民有林側）】



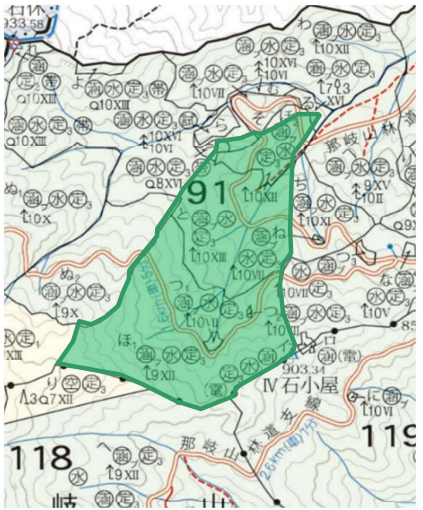
奈義町森林組合管理森林（奈義町）

※ 年齢とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1～5年生を1年齢、6～10年生を2年齢、・・・と続きます。

計画のポイント① 「災害に強い国土基盤の形成に向けた機能類型の変更」

- 気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、事前防災・減災の考え方に立ち、計画区内の山地災害危険地区(山腹崩壊危険地区) 2箇所 (27.17ha) の機能類型を見直し、「山地災害防止タイプ」へ変更しました。

【山地災害タイプへ変更した代表的な国有林】



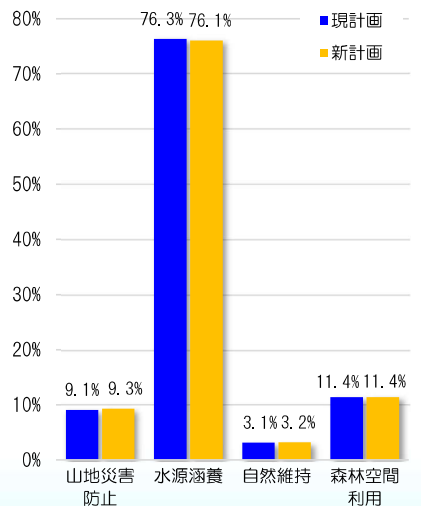
那岐山国有林 (奈義町)

林内は風化した岩石が多く、積雪が多い地域のため、下層植生は少ない状況です。このため、間伐や帯状伐採により光環境等を改善し、下層木・植生が発達した「災害に強い森林」へ誘導します。



那岐山国有林 (奈義町)

現計画と新計画の機能類型割合比較

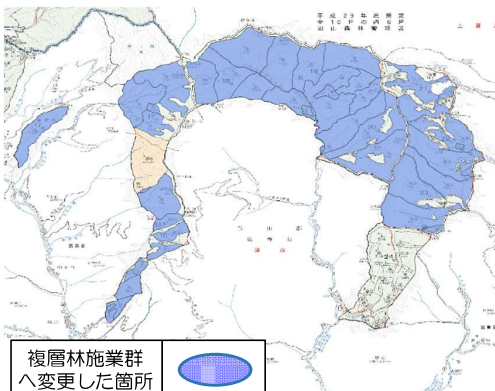


機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	国有林 (市町村)	変更前の機能類型
山地災害防止タイプ	1,175.15	1,147.98	+27.17	那岐山 (奈義町) 黒木 (津山市)	水源涵養 ^{かん} タイプ

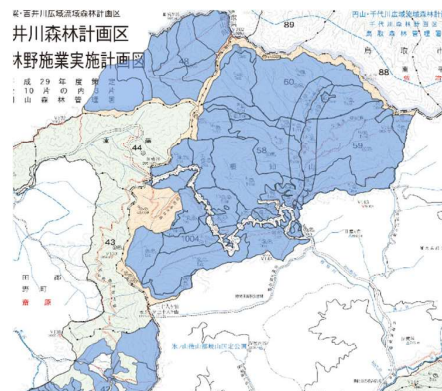
計画のポイント② 「森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更」

- 森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、帯状等の伐採と植栽により育成複層林へと誘導することとされています。
- 本計画区では、水源涵養タイプの人工林のうち2,367.89haを、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群」へ変更しました。

【複層林施業群へ変更した代表的な国有林】

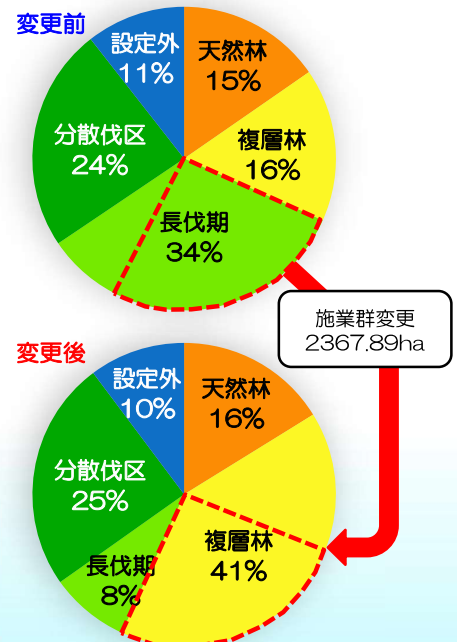


松山国有林 (鏡野町)



根知山国有林 (津山市)

施業群別面積割合



施業群	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の施業群
複層林施業群	3,825.41	1,457.52	+2,367.89	長伐期施業群

計画のポイント③「特に保護を図るべき森林に関する事項」

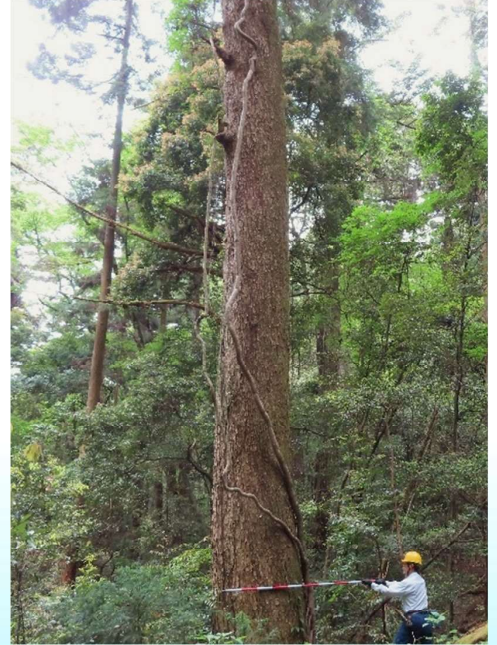
- 希少個体群保護林を本山国有林に1か所を設定しており、地域を代表する自然植生であるモミ、ツガ、クリ、アカガシ等の天然林及びその遺伝資源を保護しており、モニタリングや巡視等を行いながら厳格に保護・管理しています。

【本山モミ・ツガ・クリ等遺伝資源希少個体群保護林】



本山国有林（美咲町）

直径1.2m程度のモミの巨木のほか、希少樹種が生育しています。



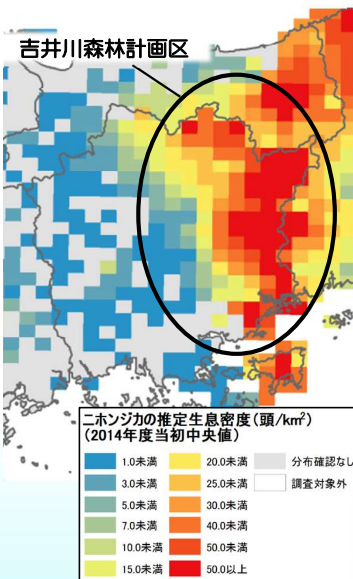
本山国有林（美咲町）

名称	面積 (ha)	特徴	国有林名 (市町村)
本山モミ・ツガ・クリ等 遺伝資源希少個体群保護林	9.72	モミ・ツガ・クリ等希少樹種の天然林及び遺伝資源の保護	本山 (美咲町)

計画のポイント④「ニホンジカの被害対策」

- 本計画区はニホンジカの生息密度が高いことから、国有林のうち7割を「鳥獣害防止森林区域」に設定しており、防護柵や幼齢木保護管の設置等の被害対策を行っています。
- 地域と一体となった捕獲技術等の普及を図るため、民有林関係者の方々を対象とした現地検討会の開催等に取り組みます。

ニホンジカの推定生息密度図



環境省報道発表資料より (H27.10.9環境省HP公表)

【シカ捕獲技術現地検討会】



津川山国有林（津山市）

【小林式くり罠で捕獲したシカ】



津川山国有林（津山市）

【検討会参加者による小林式くり罠の設置】



津川山国有林（津山市）

岡山森林管理署における捕獲実績(全県データ)

年度	捕獲頭数
平成29年度	24頭
平成30年度	140頭
令和元年度	86頭
令和2年度	212頭
令和3年度	140頭
令和4年度	153頭

※令和4年度は12月末現在の実績です。

計画のポイント⑤ 「木材の供給」及び「木材の販売」

- 本計画区の恵まれた人工林資源を有効活用するため、適正な森林整備を通じ木材の安定供給に取り組みます。
- 木材の供給に当たっては、列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた効率的な森林整備を進めるとともに、自然条件・社会的条件を考慮して主伐を実施します。
- 木材の販売に当たっては、協定を締結した需要者に直接販売する「国有林材の安定供給システム販売」を推進することで、地域における計画的かつ安定的な木材供給体制の構築に努めます。

【森林作業道の作設作業】

丸太の運搬、機械の移動等で利用する森林作業道を作設します。



津川山国有林（津山市）

【ハーベスタによる伐採・造材作業】

根元から切り倒した後、枝葉を取り除き、丸太に加工します。



白水仙国有林（美作市）

【フォワーダによる運材作業】

森林作業道を利用して、丸太をトラック積込場所まで運搬します。



津川山国有林（津山市）

【搬出した丸太を集積】
林内から運搬した丸太を、トラックへの積込が可能な場所へ集積します。



中津川山国有林（鏡野町）

【トラック運搬】

積込場所に集積された丸太を木材市場までトラック運搬します。システム販売では購入者自らが運搬します。



木地山国有林（奈義町）

計画のポイント⑥ 「木の文化を支える森づくり」

- 国宝等の歴史的木造建造物の修復資材は、特定の樹種の大径材、高齢級ヒノキの檜皮^{ひわだ}など、民有林からの供給が期待しづらいため、国有林野内に育成・備蓄する場を設定しています。
- 「檜皮採取対象林」は、建造物の屋根の修復資材の供給、採取技能者の養成を目的として、80年生以上のヒノキ人工林の中から選定しています。
- 「文化財継承林」は、将来の修復用材を確保する目的で、ケヤキ、クスノキ、クリの大き径木を育成できる見込みの箇所に設定しています。

区分	面積	国有林（市町村）	概要
檜皮採取対象林 ^{ひわだ}	9.23ha	黒木（津山市）、那岐山（奈義町）	105～111年生 ヒノキ人工林
文化財継承林	0.96ha	那岐山（奈義町）	96年生 ケヤキ天然林

【檜皮採取対象林での採取作業】

後継者不足が懸念される採取技能者の養成研修の場にもなっています。

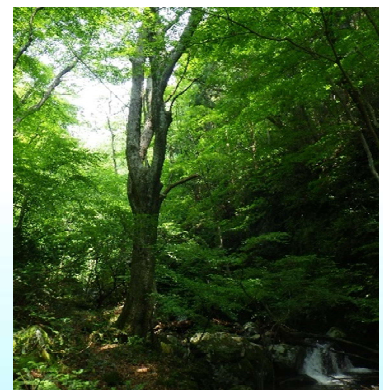


那岐山国有林（奈義町）

【採取した檜皮】



【文化財継承林のケヤキ大径木】



那岐山国有林（奈義町）

新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増 減 事 由
伐採総量	主 伐	(348ha) 80,067m ³	(168ha) 47,833m ³	複層林へ誘導するための伐採を計画したため、計画量が増加しています。
	間 伐	(1,586ha) 159,201m ³	(2,094ha) 183,888m ³	間伐対象林分の減少に伴い、計画量が減少しています。
更新総量	人工造林	307.18ha	165.82ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下 刈	851.41ha	506.77ha	造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除 伐	55.67ha	71.88ha	対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。
林道事業	開 設	1,000m	1,300m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が減少しています。
	改 良	95m	—	豪雨等により被害があった修繕箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
治山事業	保全施設	8箇所	6箇所	荒廃地復旧箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
	保安林の整備	—	76.84ha	整備対象森林が減少に伴い、計画面積が減少しています。

主伐（複層林への誘導）予定箇所



遠藤国有林（鏡野町）

間伐予定箇所



越畑山国有林（鏡野町）

(注) 赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少

資料2-8

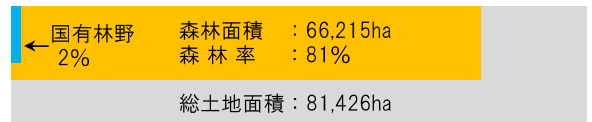
⑧ 萩森林計画区の地域管理経営計画等について（山口森林管理事務所）

国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、山口県北部の1市1町となっています。
- 国有林野は1,203haであり、計画区総土地面積の1%、森林面積の2%を占めています。
- 山口県北部の萩市及び阿武町の日本海側沿岸部にまとまった団地が所在しています。

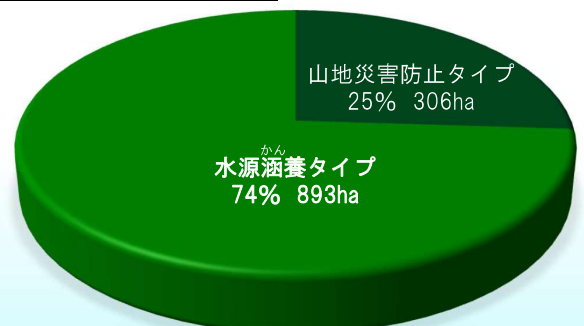


森林計画区内における森林面積の割合



機能類型別森林面積

国有林野面積：1,203ha

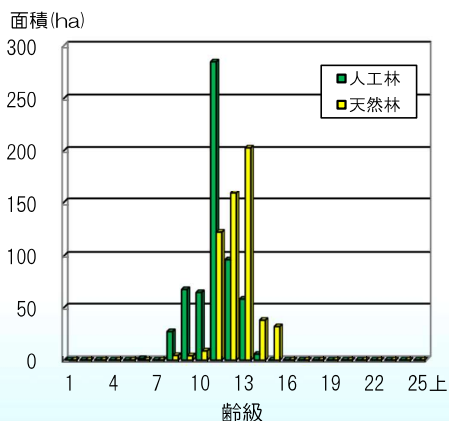


※機能類型区分設定外 1%未満 3haを含みます。

国有林野の特徴

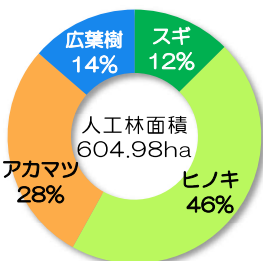
- 国有林野の人工林率は51%で、民有林の41%と比較し高く、人工林の樹種別面積ではヒノキに次いでアカマツが多くなっています。
- 国有林の多くが道路等の地域住民の生活基盤となっている施設に近接していることから、山地災害防止機能の発揮を重視した管理を行っています。
- 萩市に位置する大葉山国有林の一部が、世界遺産「明治日本の産業革命遺産 大板山たたら製鉄遺跡」の緩衝地帯に指定されています。

齢級別面積 (R4.3.31時点)

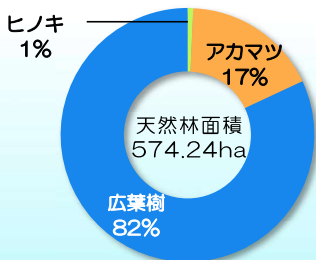


※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、・・・と続きます。

樹種別面積割合 (人工林)



樹種別面積割合 (天然林)



【県道に隣接する大葉山国有林】
地域住民の生活道路に隣接するため、山地災害防止タイプとして管理しています。



大葉山国有林 (阿武町)

計画のポイント①「山地災害への対応」

- 治山事業は、民有林治山事業と連携し、自然環境の保全に配慮した計画的な実施に努めます。
- 本計画区では、近年の集中豪雨等により荒廃した溪流への治山ダム設置などを実施し、地域の安全安心の確保に努めます。

【溪間工施工前】 谷を流れる水によって溪流の底が削られ、発生した土砂が不安定に堆積しています。



【新計画予定箇所】



【溪間工施工後】 溪流の勾配を緩やかにし、斜面の安定を図り、下流への土砂流出を防止します。



白須山国有林 (阿武町)

白須山国有林 (阿武町)

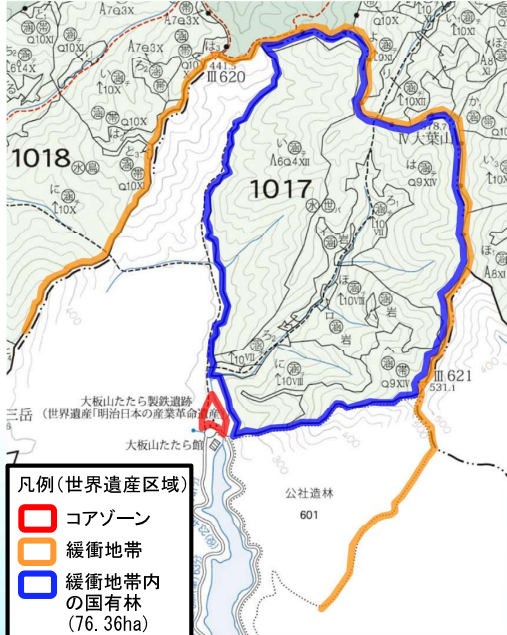
治山事業の実績と予定

種別	現計画実績	新計画予定
溪間工	3箇所	5箇所

計画のポイント②「地域の振興に関する事項」

- 地域の振興に寄与することは、国有林野事業の重要な使命の一つであり、地域づくりへの積極的な参画など地元自治体等との連携の強化に努めます。
- 本計画区では、大葉山国有林の一部が、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の緩衝地帯に指定されており、関係機関との協力関係構築を通じて、世界遺産の保全へ寄与するよう努めます。

【大板山たたら製鉄遺跡位置図】
(世界遺産：明治日本の産業革命遺産)



【世界遺産緩衝地帯となっている大葉山国有林】



大葉山国有林(萩市)

【大板山たたら製鉄遺跡 世界遺産コアゾーン】



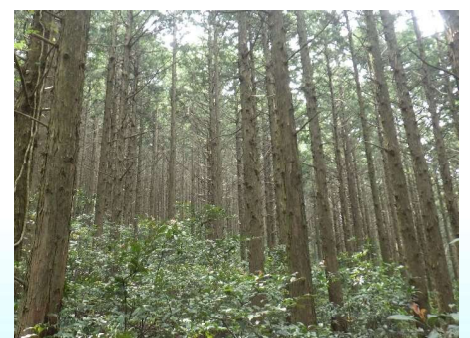
新計画における主要事業量

区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	—	—	—
	間伐	(169ha) 18,779m ³	(183ha) 18,328m ³	現計画とほぼ同水準の計画量となっています。
更新総量	人工造林	—	—	—
	天然更新	—	—	—
保育総量	下刈	—	—	—
	除伐	—	—	—
林道事業	開設	—	—	—
	改良	—	—	—
治山事業	保全施設	5箇所	3箇所	荒廃地復旧箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
	保安林の整備	—	—	—

間伐予定箇所



大葉山国有林(阿武町)



大葉山国有林(阿武町)

(注) 赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少